

2021年11月10日

各 位

上場会社名 原田工業株式会社
 代表者 代表取締役社長 三宅 康晴
 (コード番号 6904 東証第一部)
 問合せ先責任者 執行役員 上條 洋一
 (TEL 03-3765-4321)

2022年3月期第2四半期連結業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

2021年5月14日に公表いたしました2022年3月期第2四半期累計期間の連結業績予想と実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2022年3月期第2四半期(累計)連結業績予想値と実績値との差異(2021年4月1日~2021年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	百万円 18,000	百万円 200	百万円 200	百万円 150	円 銭 6.90
実績値(B)	18,220	76	42	△100	△4.60
増減額(B-A)	220	△123	△157	△250	—
増減率(%)	1.2	△61.6	△78.8	—	—
(ご参考)前期第2四半期実績 (2021年3月期第2四半期)	13,969	△1,482	△1,648	△1,251	△57.55

2. 差異の理由

第2四半期連結累計期間の連結売上高は、車載用半導体不足の影響等により非常に厳しい経営環境となりましたが、従前からの拡販活動を強化・継続することはもとより、取引先への納品が遅滞することのないようあらゆる手段を講じて対策を行いました結果、計画を若干上回り、182億200万円となりました。

利益面につきましては、事業活動に係る全てのコストに関し、抜本的な構造の改革を推進し、車載アンテナビジネスの収益力向上に取り組んだ結果、第2四半期連結累計期間では、販管費率は計画に比べ改善しました。しかしながら、不可抗力の運賃上昇による輸送費や材料費高騰等の影響が極めて大きく、営業利益は76百万円、経常利益は42百万円となりました。また、親会社に帰属する四半期純損失は、法人税等の影響により1億円となりました。

なお、前期実績と比べてみますと、世界の自動車生産台数の増産要因もありましたが、上記、抜本的な構造の改革を強力に推進したこと等を通じ、大幅な収益構造の改善が図られております。

以上